



## 挨拶は繰り返し、本物に

学 園 長 小 島 澄 人

挨拶を交わす、本当に素晴らしい。4月から毎日のように門で出迎えていますが、挨拶はパラパラでした。昨年ほとんど門に立てなかったし、コロナでの握手を控えたこともあり、年中、年長もあまり返事がない。けど今はほとんどの人がよく挨拶できるようになりました。やはり繰り返しですね。

門に立っているといろいろな事を考えます。子どもたちに触れあうことも出来ます。毎朝の事ですので体がだるい時もあります。けどなぜか2時間の間に吹き飛ばしてしまいます。本当に朝の挨拶は私の健康促進であり、また子どもたちに会える格好の場です。一人ひとりの顔が分かり、その子の体調も分かる。4月当初は歩きのお母さんの顔、顔が新鮮でした。お母さんにも挨拶、そして今年度はお父さんも多いがよく挨拶してくれる。本当に幸せ者です。

ある日、雨が降りどんよりする中、バスから降りる子どもたちに元気がない、私の声だけが響き渡るくらい静まりかえっていた、その時一人の女の子が元気よく挨拶をしました、すると次々に挨拶が交わされ、元気ないつもの姿に変わった事もありました。先生たちには、バスから降りる時は、まず自分から挨拶をし、子どもたちも真似るようになるから、見本になるように話しました。にこにこで明るく挨拶する姿に、子どもたちの挨拶もまた素晴らしい。「今日は誰が挨拶一番かな」「お迎えの園長先生をびっくりさせよう」「あっ、今の挨拶、誰かな」、先生たちの雰囲気盛り上げる言葉がけによっても違ってきます。よく挨拶するバスの先生は本当に、にこやかで楽しそうです。バスの乗り降りもスムーズになってきました。

コロナでの握手は出来ないけど、挨拶はやはり一日を明るくし、子どもたちも大人も明るくなってきました。コロナ禍、いろんな事に制限がありますがもう少しの我慢です。子どもたちの屈託のない笑顔満開、園中に広がると良いですね。

稲を植え始めました。どろんこプールも体験しました。ジャガイモを収穫して帰ってきました。重そうに、いや本当に重い、それを抱えてくる我が子が少し頼もしく見えました。先生たちは一生懸命に子どもの事を考えています。不満もあるかと思いますが、もう少しです、きっと「感謝」に変わる事でしょう。

もうそこに夏がやって来ます。次第にコロナも収まると良いですね。

